

第23回宮城県高等学校演劇コンクール

第18回東北地区高等学校演劇コンクール宮城県予選

プログラム

期日

1985年11月16日(土)~
17日(日)

会場

小牛田町文化会館ホール



主催

宮城県教育委員会
宮城県高等学校演劇協議会



ご あ い さ つ

宮城県高等学校演劇協議会
会長 鈴木和夫

燃えるような紅葉の山々に囲まれた大崎平野の真中、小牛田町文化会館で第23回宮城県高等学校演劇コンクールの幕が上がろうとしています。

久しぶりの豊作といわれる今年。昨年に引き続きササニシキの本場であるこの地で高校生諸君の真摯で熱意に満ちた舞台に接する機会のあることをとによりこびたいと思います。

教育の改革が叫ばれ、行きとどいた人間味のある教育が望まれている今、演劇の教育に果たす役割と有効性の大きさがようやく認められつつあります。公立高校でも演劇専攻のコースが始まりました。これは40年近くにわたる高校演劇関係者のたゆみない努力の結果でもあり、よろこびにたえません。

今年の大会は、昨年より2校多い36校の参加を得て、県内4つの地区大会で選抜された11校による競演です。すぐれた設備を存分に駆使して悔いのない舞台を創り上げるよう大会運営にあたる実行委員会も上演校と一体となって大会を盛り上げ、皆様におよろこびいただけるものとなるよう願ってやみません。

最後になりましたが、私共の活動に深いご理解を賜わり、大会を主催してくださった宮城県教育委員会や小牛田町教育委員会、快いご援助をくださった後援の諸団体、当会館など関係各位に心から御礼申しあげ、今後いっそうのお力添えを賜わりますようお願い致します。

審 査 員

全国高等学校演劇協議会 杉山三郎氏
NHK劇団俳優 諸石茂氏
宮城県高等学校演劇協議会 阿部順夫氏

式 次 第

◇開会式 11月16日(土)

1. 開会宣言
2. 挨拶
3. 審査員紹介
4. 日程説明、諸連絡

◇閉会式 11月17日(日)

1. 審査講評
2. 審査結果発表
3. 表彰
4. 挨拶
5. 閉会宣言

<リハール>

	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
11月14日(木)	準備と打合せ			1 名取	2 多賀城	3 仙台	4 ウルストラ	5 黒川	準備		
11月15日(金)	準備	6 若柳	7 常盤木	8 聖和	9 三島	10 白石女	11 鼎が浦	準備と仕込み			

<上演>

	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
11月16日(土)	準備	開 会 式	上演① 鼎が浦	上演② 常盤木	上演③ 仙台	上演④ 若柳	上演⑤ 白石女	上演⑥ 聖和	準備と仕込み		
11月17日(日)	準備	上演⑦ 黒川	上演⑧ 名取	上演⑨ ウルストラ	上演⑩ 多賀城	上演⑪ 三島	後 夜 祭	講 評 閉 会 式			

<当日役割分担>

	総務	受付	接待	放送	進行	会場	舞台	警備
11月16日(土)	実行委	宮城	朴沢	二女	名取北 一女	仙女商 白百合	仙工 東北	南郷農 広瀬
11月17日(日)	実行委	ドミニコ	朴沢	泉	名取北 一女	向山 尚綱	育英 一高	仙台南 三女

- 注 1. 上演後幕間討論を行います。
2. 上演中の会場内でのフラッシュ使用撮影は固くお断りします。
3. 上演時間は多少変わることがありますのでご了承ください。

11月16日 (土) 上演 1

東部地区代表

宮城県立鼎が浦高等学校

*顧問 毛利理恵子, 猪股 信夫
*部長 三浦 浩子

*作 福田 薫
*脚色 演劇部

牛肉の特上ロース

◎ スタッフ

演出 三浦 浩子(2)
舞台監督 三浦 幸(1)
装 置 三浦 幸(1) 小野寺ゆき(3)
高橋 弘美(1)
照 明 堺 恵美子(1) 佐藤美香子(3)
三浦 洋子(3) 熊谷 美和(1)
効 果 小野寺房子(1) 鈴木 ミサ(3)
島山恵理子(3) 佐藤由香理(1)
衣 裳 阿部智幸子(1) 小山 睦(3)
三浦 浩子(2)

◎ キャスト

母 高橋 弘美(1)
礼 子 熊谷 美和(1)
稔 佐藤由香理(1)
隣 夫人 三浦 浩子(2)
良 子 堺 恵美子(1)

◎ あらすじ

牛肉の特上ロース

「臨時ニュースよ、壁がなんとかかんとか」隣のおばさんが飛び込んできた。「大変だ。お父さんが人さらいに！」と今度は稔君。変よ、変だわ。次から次へと不思議な事が…。政府が核戦争の準備を始め、町中の男の人を牛肉の特上ロース1キロと交換していく。取りかえそうにも取りかえしようがない。「お父さんを返してよ！」次々とエスカレートしていく様々な事件。全部核戦争の準備に関連していたのです。そして最後には準備だけじゃすまなくなったのです。“ついに交戦状態に…”な、なんていう事を。これから私達はどうなるの!?

◎ 演出のことば

この劇にとりかかっからー。

「私、飛行機の音聞くとびっくりする。」

「私も、牛肉の特上ロースみたく戦争になるんじゃないかって。」etc

1年生の会話です。実は私もです。舞台の上だけではなく、明日にでもあり得る事なのです。But、二度と戦争なんて起こさないように、舞台の上でのキャストの気持ちも忘れないようにと思い、日夜練習にはげみました。

11月16日 (土) 上演 2

8 東北 仙台地区代表

常盤木学園高等学校

*顧問 今野 仁, 小野寺典世, 木村 芳子
*部長 熊野ゆみ子

*作 如月 小春
*潤色 熊野ゆみ子

DOLL ~ドール~

◎ スタッフ

演出 熊野ゆみ子(3)
助 演 出 鈴木 美香(2)
舞台監督 小山かおり(2)
助舞台監督 鶴田 麻子(1)
装 置 森 美樹(1) 熊野ゆみ子(3)
吉武 伴子(1) 鶴田 麻子(1)
照 明 浅野 直美(1) 渡辺 耕子(1)
本名由可子(1) 小山かおり(2)
音 響 効 果 遠藤 裕美(1) 今野 美香(3)
石垣 雅子(1) 山田 陽子(1)
衣 裳, メイク 木皿 文子(1) 鈴木 美香(2)
林 好美(1) 越田 美和(1)

◎ キャスト

ゆみ子 熊野ゆみ子(3)
美 香 今野 美香(3)
か お り 小山かおり(2)
妙 子 鈴木 美香(2)
由 可 子 本名由可子(1)
左 耳 森 美樹(1)
左 眼 山田 陽子(1)
右 木 眼 吉武 伴子(1)

◎ あらすじ

3月26日

推定時刻 午前4時18分

— 何故、少女達は水になったのか……。

◎ 演出のことば

心であなたを捉えます。

しかし、練習場所の問題やら何やらで、おもうより早く終わってしまいました。でも一生懸命がんばってきたつもりです。

この作品で少しでも多くの方に、このような子供たちに関心を持っていただけたら幸いです。

仙台高等学校

*顧問 渡辺 喜雄, 阿部 順夫
*部長 宮澤 香織

*作 西沢 周市

遁走・曲(フーガ)

◎ スタッフ

演出 宮澤 香織(2)
舞台監督 岡部紀美恵(2)
装 置 宮澤 香織(2) 全員
照 明 岡部紀美恵(2) 松宮貴美江(3)
齋藤ひとみ(3)
効 果 宮澤 香織(2) 樺沢ゆかり(3)
衣 裳 岡部紀美恵(2) 高部真奈美(2)
森 美華(1)

◎ キャスト

三島(高校生) 森 美華(1)
太宰怜子 宮澤 香織(2)
太宰淳子 高部真奈美(2)
川端校長 岡部紀美恵(2)
生徒たち(声) 齋藤ひとみ(3)
松宮貴美江(3)

◎ あらすじ

不良学校で名高い夏目高校に赴任してきた家庭科教師太宰怜子。彼女は不良学校に限り
ないあこがれを持っていた。不良ばかりあつめたクラスを作り、自ら不良教師となり彼ら
を率いて、オートバイでつっぱしる!!けれどもある事件をきっかけに彼らは真面目な受験
生に変わっていった。

「なぜ—?」

「みんなわかったんですよ。バカじゃだめだって……世の中を渡って行くのは学歴なん
です!」優等生・三島の答えに首をふる太宰。しかし……

◎ 演出のことば

学校って何でしょう?本当の教育って?そして…青春とは何だー!!失礼しました。青
春=くさいの公式が成り立つ今、正面切ってこんなこというのもなんです。真剣に考え
てみる価値はあるんじゃない?なあって、この劇はそんなにマジメに観ちゃいけません。
さあっ笑え!笑うんだあ!文化祭ではひとつもうけなかったこの劇、コンクールでどこま
で通用するか!?!まちがったら笑って許してね。練習の甘さでは定評のある仙高演劇部、
総勢4人のせいで1人欠けるだけで練習がままならぬという例年以上の悪条件を乗り越え
て、ぐわんばってみせます!!

宮城県若柳高等学校

*顧問 高橋 悦朗
*部長 石川美恵子

*作 小寺 隆詔

*脚色 演劇部

かげの砦

◎ スタッフ

演出 古川恵美子(2)
助 演 若見 佳代(1)
舞台監督 小野 典美(2)
装 置 小野 典美(2) 小野寺恵美(2)
菅原 由美(2) 近藤 美保(1)
沼倉 有里(1) 若見 佳代(1)
照 明 佐藤あけ美(2) 佐藤 昌代(2)
末長 昭子(1)
効 果 岩渕 由季(2) 千葉 裕美(2)
荘司 久美(1) 菅原三千代(1)
衣 裳 鈴木 篤子(2) 阿部 仁子(2)
小野寺みえ子(1)
高橋 弘江(3) 高橋千代美(3)
松坂 昌美(3) 佐々木輝美(3)
佐々木里江(3) 金野マユミ(3)
佐々木克子(3) 高橋 悦子(3)
三浦かおり(3)

◎ キャスト

谷川 芳子 千葉 裕美(2)
椛山 道乃 菅原 由美(2)
河村 とみ 岩渕 由季(2)
佐藤 勇 小野寺恵美(2)
佐々木由利子 沼倉 有里(1)
大崎 秀子 鈴木 篤子(2)
坂本 守 小野寺みえ子(1)
大嶋 邦雄 菅原三千代(1)
鈴木 君枝 近藤 美保(1)
工藤 京子 若見 佳代(1)
三浦 恭一 阿部 仁子(2)
三浦 きの 佐藤 昌代(2)

◎ あらすじ

“特殊”という名のついた教室に入れられて自分たちの「とりで」の中で暮らしている
子供たち。先生たちでさえこの子供たちのことを、本当に理解してくれている先生は少な
いだろう。それなのに「くじびき」で決められて、この子供たちの担任になった谷川先生。
はじめはやはり、このクラスの担任をいやがっていたが、何ヶ月か一緒に暮らすうちに、
子供たちの純粋さやすなおさがわかり、子供たちの間にとけこんでいったが……

◎ 演出のことば

“特殊学級”という言葉でみなさんは、何を感じますか?

みなさんは、このような子供たちについて関心がありますか?

なんとかみんなの意見をまとめ、この「かげの砦」で参加することになりました。

しかし、練習場所の問題やら何やらで、おもうように練習ができませんでした。でも一
生懸命がんばってきたつもりです。

この作品で少しでも多くみなさんに、このような子供たちに関心を持っていただけ
たら幸いです。

宮城県白石高等学校

*顧問 松崎さゆり

*部長 小野真由美

*原作 高橋 彰子

鳥なき里

◎ スタッフ

演出 高橋 尚美(2) 但木美枝子(2)
 舞台監督 黒沢 裕子(2)
 助手 渡辺 広恵(1)
 装置 小野真由美(2) 佐藤 陽子(1)
 水上 理恵(1)
 照明 近江 綾子(2)
 効果 後藤 友希(1) 二瓶由紀子(1)
 衣裳 富岡 耐子(2) 泉 裕子(1)
 川崎千恵子(1) 丸子 恵美(1)

◎ キャスト

若い女 水戸由里子
 女 南部 佳恵
 女 1 宮城 久江
 女 2 高橋 朋美
 女 3 鈴木 光枝

◎ あらすじ

結婚は女性にとって、幸・不幸をきめる、かけのようなもの。
 その結婚に失敗したらどうしますか。
 もう一度、結婚する人もいます。
 いつまでも、待ち続ける人もいます。
 憎しみばかりが募る人もいます。
 この物語の女達も結婚に失敗し、里に閉じこもり、何の望みもなく死ぬのを待つばかり。
 たった一つの支えは自分が一番不幸で、一番つまらないめにあった女だと思ひ込むことでした。
 そこへトランクを大事そうにかかえた若い女が迷いこんで来て……。

◎ 演出のことは

この脚本を選ぶときのこと。
 自分達が演じる者として考えながら脚本を読むと、どうしても「男役がないもの」とか、「人数が多すぎるとできない」とか、「装置は作れるのか」などと、いろいろな雑念を持ったまま読んでしまう。その結果、なかなか決まらずイライラしていたとき、ポッと突然、降ってきたかのように候補にあがったのが、この「鳥なき里」だったので。
 実はこの脚本もボツになっていた一つだったので、部員の一人が、「何も考えずに、一番素直に感動できた。」と言った一言で決まったわけです。
 その感動を舞台にして伝えたいと願って、がんばります。ぜひ、感じて下さい。

聖和学園吉田高等学校

*顧問 佐藤喜志夫

*部長 渋谷加代子

*原作 三島由紀夫(近代能楽集「道成寺」)

*翻案 佐藤喜志夫

鏡 宴

◎ スタッフ

演出 渋谷加代子(2)
 舞台監督 今野有里子(1)
 装置 佐藤真志美(1) 今野有里子(1)
 照明 相馬 美紀(1) 小野寺玲子(2)
 三井 和美(2) 小野 裕美(2)
 効果 今野有里子(1)
 衣裳 小林千代子(2) 村木 美香(2)

◎ キャスト

鏡子 庄司架奈子(1)
 女主人 橋 勇希(2)
 客 A 遠藤 明美(1)
 客 B 佐藤 実香(1)
 客 C 安部川可奈美(1)
 女中 相馬 美紀(1)

◎ あらすじ

—自然は認めなければいけないわ
 —殺すことも自然ですか
 —殺したんじゃないわ、死んだのよ
 —ごらんささい自然と戦ったって勝てやしないでしょ
 —いいえ、負けたではありません
 私は自然と仲直りをしたいのです
 ……………

◎ 演出のことは

みなさん、こんにちは。
 今年の聖和は今までとは一味違いますよ。
 男と女。そして女の争い。これを紙とペンで練って作りあげた脚本です。
 さあ始めるぞ~と思った途端に異常事態が発生したのです。部員が1人、2人と去っていき、部員集めから芝居作りの第一歩が始まったような感じです。でも何とかここまで形どることが出来ました。本番はコンガリ焼けた芝居になるよう部員一同ガンバリマス。

宮城県黒川高等学校

*顧問 伊東 俊

*作 町井 陽子

*部長 木村 博美

柳 一りゆう一

◎ スタッフ

演出 斎藤 教子(2) 木村 博美(3)
 舞台監督 影山 耕司(3) 寺嶋千恵子(2)
 装置 千葉 良枝(2) 渡辺紀久美(3)
 大友美智子(3) 鹿又 晴美(3)
 菅原 敦子(1) 影山 耕司(3)
 照明 佐藤あき子(1) 小林 幸子(3)
 渡辺由紀子(3)
 音効 佐々木あけみ(1) 小林 幸子(3)
 衣裳、メイク 浅野 由美(3) 佐藤よし子(3)

◎ キャスト

石垣 柳 木村 博美(3)
 ゆき 大友美智子(3)
 うめ 浅野 由美(3)
 ふじ 鹿又 晴美(3)
 きく 寺嶋千恵子(2)
 らん 斎藤 教子(2)
 おりき 渡辺紀久美(3)
 おまつ 佐藤あき子(1)

◎ あらすじ

時は明治。ある秋の日の午後から夜にかけての大惨事……
 昔、柳がゆきという子を連れてある村の由緒ある家に嫁いだ。その後柳は四人の子を産み、うめ・ふじ・きく・らんと名付けた。時は流れ夫は死に家の中はすべて女だけとなった。夫亡きあと、家を守っていくためにひたすら厳しい家風の中で五人の娘を育てる柳。しかし柳の依怙地なまでの躰に反発する娘たち。
 ある時、ゆきが結婚することになった。その相手の男、信二をめぐっての女のみにくい争い……平和な日々が崩れていく。

◎ 演出のことは

私達は脚本選定のときに時間をかけて、お互いが納得するまで話し合いを続けました。全員一致で決まったこの脚本、皆の意気込みがうかがえます。
 この劇は、明治時代に生きる女たちの生き様を描いたものです。それぞれの立場に立った物事の対処の仕方を通して哀しい生き方を表現していきたいと思います。
 初の時代物なので、台詞や着る物・装置など暗中模索の毎日ですが、素晴らしい出来になると確信しています。
 どうぞごゆっくりご覧下さい。

宮城県名取高等学校

*顧問 郡山輝子, 佐藤紀昌, 渡部正巳

*原作 如月 小春

*部長 斎藤 光子

*脚色 演劇部 DOLL ~光の国へ~

◎ スタッフ

演出 斎藤 光子(3)
 助演出 大石 量子(1)
 舞台監督 藤原真理子(3)
 助舞台監督 鈴木 春美(2)
 装置 奥村 雅幸(3) 川口 利雄(2)
 鈴木美栄子(1) 佐藤 秀和(2)
 中村 信(3) 布田 伸至(3)
 遠藤 剛(1) 中沢 哲也(3)
 佐藤 克弘(2) 大谷 亮一(2)
 照明 斎 真由美(1) 石川 清貴(2)
 芳賀 育子(2) 千葉由紀男(2)
 音効 嶺岸 康浩(3)
 音効 果 安斎 則子(1) 阿部 文子(3)
 吐合 由理(3)
 衣裳、メイク 斎藤 光子(3) 芳賀 育子(2)

◎ キャスト

恵 子 吐合 由理(3)
 麻 里 川村 純代(3)
 京 子 鈴木 春美(2)
 みどり 大石 量子(1)
 いづみ 斎藤 光子(3)
 右 眼 中村 信(3)
 右 耳 奥村 雅幸(3)
 左 眼 鈴木美栄子(1)
 左 耳 遠藤 剛(1)
 上 村 奥村 雅幸(3)

◎ あらすじ

「何故、何故、何故、少女達は水になったのか」
 「こちら現場、こちら現場、現場には雨が降っています。世界中、本日雨の模様です」
 同じ寄宿舎の部屋で生活する5人の少女達。普通の世界に普通に生きている高校生が、普通に悩み、喜び、移りゆく季節の中ですれちがい、やっと通じ合ったその時、少女達の選んだ道は……。

◎ 演出のことは

バラバラだった心と心が“死”という言葉で結びついた。外見は一人前でも、中身はまだできていない少女達。彼女達はバラバラでいるのがあまりにさみしくて、そこから脱け出すためには命もおしまなかったのだ。そして残された世間の分別くさい大人達には、理由などわかるはずもない……。
 都会のゴミゴミした中で、心を開く手段は死しかなかったのだろうか？自分の気持ちをうまく表現できない不器用な現代っ子。いろいろなことに恵まれすぎてコミュニケーションのとれにくくなった社会で、“DOLL”達はどんな風に生きていけばよいのだろうか？
 どこまで都会を表現できるか……私達の世界を見てやって下さい。ウォー！

聖ウルスラ学院高等学校

*顧問 菊池 節子
*部長 高橋 道子

*作 オルコット
*脚色 内山 喜吉
*潤色 演劇部

「心の中の悪魔」<若草物語>

◎ スタッフ

◎ スタッフ

演出 大友 智美(2)
助演出 米山 礼子(1)
舞台監督 磯目 裕子(2)
助舞台監督 草刈 万紀(1)
装置 草刈 万紀(1) 川越 由美(1)
小松みつる(2) 米山 礼子(1)
山田 和佳(2)
照明 山崎 京子(1) 佐藤久美子(2)
磯目 裕子(2)
効果 太田 由香(1) 高橋 道子(2)
大友 智美(2)
衣裳,メイク 高橋 道子(2) 佐藤久美子(2)
大友 智美(2)

◎ キャスト

メグ 佐藤久美子(2)
ジョー 小松みつる(2)
ベス 川越 由美(1)
エミー 高橋 道子(2)
マーチ夫人 太田 由香(1)

◎ あらすじ

舞台はだれもが憧れるアメリカ開拓時代。あたたかい家庭に育つ4人姉妹、— ひとやかなメグ、男まさりのジョー、内気なベス、おしゃまエミー — は、ケンカをしてもすぐに仲直りのはずだったのですが……。

個性の強いジョーとエミーは大ゲンカになってしまいます。腹立ちまぎれに、ジョーが命よりも大事にしていたノートを焼いてしまったエミーを、ジョーはどうしてもゆるせません。

大人になりかけたジョーは、おさえきれない怒りの中に今まで知らなかった恐ろしい自分を発見します。

◎ 演出のことは

あなたは「悪魔」というとどんなものを想像しますか？しっぽの生えた黒いかわいいぬいぐるみ？それとも歯をはやした恐ろしい怪獣？

“いいえ”『悪魔』はもっともっと恐ろしいものです。もしかしてそれはあなた自身かもしれませぬよ。ふふふふふ……。

宮城県多賀城高等学校

*顧問 斎藤 秀雄
*部長 佐々木宏美

佐々 俊之 愛は親切

◎ スタッフ

演出 水間 恵美(2)
助演出 飯田 理子(1)
舞台監督 佐藤 寿美(2)
大道具 鷺池 悦子(1) 石川 由美(2)
菅原 百合(2) 横田 美和(2)
熱海 千里(1)
照明 西村 幸子(2) 鎌田 朝妃(2)
佐藤 寿美(2) 明道 信一(2)
三浦 亮(1) 阿部 理恵(1)
音響効果 津田 俊和(1) 大山 薫(1)
佐々木正行(1)
メイク 千坂 明子(2) 山田 加織(2)
赤間 優美(1) 浅野 成美(1)

◎ キャスト

女1・深川ナツコ(高校生)
島山 恭子(1)
女2・森下 あき(高校生)
女3・月島(担任教師)
佐々木宏美(2)
男・(校長)
秋葉 亜土(1)

◎ あらすじ

フツウの女の子は、とっても困るんです。こういうオハナシって苦手なんです。でも、やっぱり、フツウの女の子はフツウに優しいから、力になってあげるべきだって思っちゃうんです。だけど、こうゆうオハナシって慣れてないから、「先生、誰にも言わないって誓ってくださいね。」っていうわけなんです。ところがこの先生もやっぱりフツウの先生だから、「校長先生、ちょっとお話が……。」ってなっちゃうんです。

いつの日も、いつになっても信じてもらえることを— 確かに重荷にはなるでしょう。が、それと同時に喜びとして感じたいと思います。当り前のことだと言ってしまうと、それまでなのですが……。

◎ 演出のことは

我が多賀城高校演劇部の特徴は、「脚本の型」である。私達がいつも選ぶものは抽象劇であり、テーマが分からないまま演技することを楽しんで終わっていた。そこでこのコンクールにあたって、今迄とは違うジャンルに挑戦しようということになった。が、練習日数が1カ月もない。どうまとめたらいのかと苦悩のフリをするのだが、思いつめても時間の無駄である。だが、協力してくれる仲間たちがいるので、その分挽回できるかな!?

この作品を演じることについて、皆様方にテーマが伝わるかどうか分かりませんが、身近にないようであるテーマですので、じっくりと考えていただきたいと思います。

11月17日(日) 上演11

01東北 仙台地区代表

三島学園女子高等学校

*顧問 徳山昭光子, 小栗 典子
*部長 大槻 由香

演劇部(創作) 「アカシアの街から」-私のノートブッカー

◎ スタッフ

演出 大槻 由香(3)
助演出 峯岸寿美子(2)
舞台監督 福地 とく(3)
装 置 村上 真理(2) 阿部 弥生(3)
舞台監督 沼田志寿子(1) 渡辺美樹子(2)
助舞台監督 山崎 博子(2) 関 信子(1)
音響効果 関沢 奈美(2) 平塚 真紀(3)
大場由紀子(3)
照 明 名取 千賀(3) 三浦 典子(1)
本郷 治子(2)
衣裳・メイク 高橋 咲子(3) 永岡 直美(2)
岡崎 英子(1)

◎ キャスト

広 末 渡辺美樹子(2)
公 美 関 信子(1)
島 山 山崎 博子(2)
紀 子 大場由紀子(3)
えみ子 岡崎 英子(1)
香菜子 嶺岸寿美子(2)
先 生 本郷 治子(2)
コロスA 沼田志寿子(1)
" B 村上 真理(2)
" C 阿部 弥生(3)

◎ あらすじ

「私は日本人の子に生まれた。終戦前後の混乱によって保護者と別れ別れになり、ずっと中国で成長した。当時12歳以下だったから私がだれだか覚えていない」厚生省中国残留日本人孤児の定義

戦後40年。私達戦争を知らない高校生は今……。

◎ 演出のことば

この劇を創り上げるまでにたくさんの努力をしました。みんなで力を合わせて頑張りますので、どうぞ最後まで見て下さい。

昭和60年度宮城県高等学校演劇コンクール地区大会一覧

*印刷作

◇仙台地区大会(第18回仙台市高等学校演劇祭)22校参加
10月24日(木)~27日(日) 仙台市民文化センター6F体育館

朴沢女子高等学校「声」鈴木 恒男作
仙台工業高等学校「Together」藤原 緑朗作*
仙台白百合学園高等学校「モモ」演劇部脚色
宮城第一女子高等学校「幕あけ」演劇部作*……………演技賞
聖ドミニコ学院高等学校「かげぼうし幻想」内木 文英作
聖ウルスラ学院高等学校「心の中の悪魔(若草物語より)」演劇部脚色……………優秀賞
仙台向山高等学校「光輝ある出番」福田 薫作
宮城第二女子高等学校「蒼い影」演劇部作*
聖和学園吉田高等学校「鏡宴」佐藤喜志夫翻案……………優良賞
宮城第三女子高等学校「女王陛下とクーデター」町井 陽子作
宮城学院高等学校「新説・竹取物語」演劇部作*
宮城県仙台第一高等学校「未熟なる者」石川 雅信作*
仙台育英学園高等学校「めぐり逢いふたたび」斎藤 真二作*
仙台高等学校「遁走・曲(フーガ)」西沢 周市作……………優良賞
東北高等学校「破~break~」演劇部作*
三島学園女子高等学校「アカシアの街から-私のノートブッカー」演劇部作*……………最優秀賞
仙台女子商業高等学校「夢幻」演劇部作*……………創作脚本賞
宮城県宮城広瀬高等学校「Tutning Point」演劇部作*……………舞台美術賞
尚綱女学院高等学校「面接試験」石山浩一郎作
宮城県泉高等学校「面接試験」石山浩一郎作
宮城県仙台南高等学校「プロローグ」おおつのだんな作*
常盤木学園高等学校「DOLL~ドール~」熊野ゆみ子潤色……………優秀賞

◇南部地区大会 10月26日(土) 名取高等学校体育館 6校参加

宮城県名取北高等学校「私の中の私」川名 又一作*……………創作脚本賞
宮城県亘理高等学校「学校」井関 義久作
宮城県船岡養護学校「フルーツ・キャップ」台本製作委員会作*
宮城県農業高等学校「人形館」渡辺 茂作
白石女子高等学校「鳥なき里」高藤 彰子作……………優秀賞
宮城県名取高等学校「DOLL~光の国へ~」演劇部潤色……………最優秀賞

◇東部地区大会 10月29日(火) 松島町公民館 5校参加

宮城県松島高等学校「赤ずきん-ザ・紙芝居-」榎原 政常作……………演技賞(渡辺育子)
石巻市立女子高等学校「おやめ、眠り犬を起すのは」町井 陽子作……………演技賞(渡辺千亜紀)
塩釜女子高等学校「うだうだ・ざ・青い春」小嶋 千鶴作……………演技賞(鈴木加代子)
宮城県多賀城高等学校「愛は親切」佐々 俊之作……………優秀賞
宮城県鼎が浦高等学校「牛肉の特上ロース」演劇部脚色……………最優秀賞

◇北部地区大会 11月7日(木) 黒川高等学校体育館 3校参加

宮城県黒川高等学校「柳一りゅう」町井 陽子作……………優秀賞
南郷農業高等学校「エレベーター」黒羽 英二作
宮城県若柳高等学校「かげの砦」演劇部脚色……………最優秀賞

宮城県高校演劇コンクールのあゆみ

- 第1回 (昭38.11)
最優秀 尚 綱 「娘たち」
第2回 (昭39.11)
最優秀 育 英 「同志の人々」
第3回 (昭40.11)
最優秀 仙台第三「轍」
特別賞 三 島 「伽羅先代萩」
第4回 (昭41.11)
最優秀 仙台工 「木龍うるし」
優 秀 白百合 「スカパンの悪だくみ」
優 秀 名 取 「次郎案山子」
第5回 (昭42.11)
最優秀 宮 城 「静かなる朝」
優 秀 仙台女商「母と娘」
優 秀 電 子 「第三の火の中で」
第6回 (昭43.11)
この年より仙台市公民館が主催。仙台市高校演劇祭となる。
最優秀 仙台工 「ふきだまり」
優 秀 宮 城 「唾のユミュリユス」
優 秀 電 子 「轍」
第7回 (昭44.11)
最優秀 仙台工 「面(ますく)」(創)
優 秀 宮 城 「高等学校数学I」
優 秀 白百合 「長い長い橋の上で」
第8回 (昭45.11)
最優秀 仙台工 「勉強を邪魔する奴は誰だ！」
優 秀 仙台商 「橋の上」
優 秀 第三女子「墨東記」
第9回 (昭46.11)
最優秀 名 取 「魔女宣言」
優 秀 尚 綱 「虫めづる姫君」
優 秀 聖 和 「遠いふるさと」
第10回 (昭47.11)
最優秀 ウルスラ「ある群れ」
優 秀 常盤木 「試行錯誤」
優 秀 白百合 「ある午後」
第11回 (昭48.11)
最優秀 名 取 「影ぼうし紀行」
優 秀 常盤木 「当世幻談」
優 秀 ドミニコ「静かなる朝」
第12回 (昭49.11)
最優秀 常盤木 「才女ありて」
優 秀 仙台女商「試行錯誤」
優 秀 育 英 「ボンコツ車と五人の紳士」
第13回 (昭50.11)
最優秀 名 取 「流れ星四番」
優 秀 聖 和 「遠いふるさと」
優 秀 仙 台 「遊びましょ」
第14回 (昭51.11)
最優秀 聖 和 「ある群れ」
優 秀 名 取 「聞いてる?ミランダ」(創)
優 秀 第二女子「夢の中へ」(創)
第15回 (昭52.11)
宮城県教育委員会との共催となる。
最優秀 常盤木 「三途の川を渡りそこねた少女の話」(創)
優 秀 聖 和 「薯の煮えるまで」
優 秀 鼎が浦 「埴生の宿」
第16回 (昭54.1)
地区大会(予選)制となる。
最優秀 東 北 「蜉蝣」(創)
優 秀 宮 城 「不思議な国のアリス」(創)
優 秀 常盤木 「鬆陰」(創)
優 秀 名 取 「遠くへ行った又三郎」
第17回 (昭54.12)
最優秀 朴 沢 「しんでれら・げえむ」
優 秀 仙台第一「永い冬の終わる頃」(創)
優 秀 第二女子「栄光の日」
第18回 (昭55.12)
最優秀 黒 川 「無(カラスの迷路)」(創)
優 秀 朴 沢 「にび色の砦」
優 秀 鼎が浦 「蚊遣火」
優 秀 名 取 「おやめ!眠り犬を起こすのは」
第19回 (昭56.12)
最優秀 鼎が浦 「灰スクール」
優 秀 宮 城 「Daydream believers」(創)
優 秀 名 取 「柳」
第20回 (昭57.12)
最優秀 名取北 「遠くへ行った又三郎」
優 秀 宮二女 「生姜入りパンを焼く日」(創)
優 秀 涌 谷 「黒いゲーム」
第21回 (昭58.12)
最優秀 仙台工 「BLUE」(創)
優 秀 黒 川 「燈(あしおと)」(創)
優 秀 名取北 「ブンナよ木からおりてこい」
第22回 (昭59.11)
最優秀 名取北 「RECAST」(創)
優 秀 常盤木 「Far away -ヴァニティーズより-」
優 秀 若 柳 「萩の花」

<大会役員>

大会実行委員会 実行委員長 鈴木和夫(仙工)
副委員長 五十嵐迪雄(東北)
事務局長 阿部順夫(仙高)

<総務> 渡辺 喜雄(仙高), 渡辺 繁(仙工), 永沢 幸助(向山)
大石 和彦(名取北), 安保 健(南郷農), 小野寺孝子(松島)

<接待> 伊藤真理子(朴沢), 斉藤 尚美(宮城), 巨理 正子(巨理)

<受付> 内海 郁夫(三女), 山田 康之(ドミニコ)

<進行> 程島 秀明(二女), 川村 裕子(泉), 藤村 延子(仙女商)
前原 一雄(一女)

<舞台> 佐竹 誠(仙工), 吉城 文雄(一高), 渡部 進(育英)
斎藤 信雄(東北)

<会場> 大石 孝(尚綱), 穂積 正一(白百合), 高橋寿美子(仙女商)

<警備> 高橋 義仁(仙台南), 小山 賢治(広瀬)

<舞台技術指導> 金野 倫明, 伊藤 祥司, 松本 尚子, 芳賀 一弘, 小野 正宏

第1回 (昭和38.11)
最優秀 尚 劇 「あつち」
第2回 (昭和39.11)
最優秀 尚 劇 「あつち」
第3回 (昭和40.11)
最優秀 尚 劇 「あつち」

<生徒実行委員会>

実行委員長 藤原 緑 朗
副委員長 鈴木 雅 世
" 矢部 聖 一

一 女 草野 かおる (1) 広 報
山口 あゆみ (2) 企画サブ
白百合 伊藤 里佳子 (1) 企 画
斎藤 玉 衣 (1) 企 画
女 商 館石 有 果 (3) 広 報
猪股 里 美 (2) 企 画
育 英 斎藤 真 二 (3) 広 報
小原 雄 一 (3) 企 画
朴 沢 梅津 さなえ (2) 企 画
塩谷 あきつ (1) 広 報
向 山 高平 愛 (1) 広 報
南 田中 稔 (2)
川名 弘 朗 (2)
一 高 佐藤 裕 己 (1)
岡田 勉 (1)
仙 高 宮沢 香 織 (2) 広 報
岡部 紀美子 (2) 企 画
泉 倉内 さおり (1) 企 画
高橋 邦 枝 (2) 企画チーフ
尚 綱 長沢 貴 子 (2) 広 報
渋谷 敬 子 (2)
三 女 鈴木 美 紀 (1) 企 画
鈴木 聡 子 (2) 企 画
常盤木 石垣 雅 子 (1) 企 画
宮 城 鈴木 雅 世 (3) 総 務
川村 素 子 (2) 総 務
宮 城 川村 素 子 (2) 総 務

書 記 高橋 道 子
" 川村 素 子
会 計 渋谷 敬 子
聖 和 渋谷 加代子 (2) 広 報
安部川 可奈美 (1) 広 報
広 瀬 高 谷 ゆかり (2) 広報チーフ
永 沢 淳 子 (2) 企 画
三 島 嶺 岸 寿美子 (2) 企 画
大 場 由紀子 (3) 企 画
ドミニコ 辻 恵 子 (1)
舟 山 カ ナ (2)
仙 工 藤原 緑 朗 (3) 総 務
矢部 聖 一 (2) 総 務
ウルスラ 大友 智 美 (2) 企 画
高橋 道 子 (2)
二 女 飯 沼 亜 衣 (1)
佐藤 広 恵 (1)
東 北 久保 章 (2)
小 玉 義 男 (2)

大会事務局
〒980 仙台市荒巻字国見東山12番10号
仙台高等学校内
宮城県高等学校演劇協議会事務局
(阿部順夫・渡辺喜雄)
TEL 0222-71-4471
印刷 本田印刷株式会社
TEL 0222-88-5231代

宮城県高等学校演劇協議会加盟校

尚綱女学院高等学校
仙台女子商業高等学校
仙台工業高等学校
東北高等学校
東北電子工業高等学校
聖和学園吉田高等学校
仙台育英学園高等学校
宮城学院高等学校
仙台白百合学園高等学校
宮城県名取高等学校
聖ウルスラ学院高等学校
常盤木学園高等学校
宮城県第三女子高等学校
仙台高等学校
宮城県仙台向山高等学校
宮城県泉高等学校
宮城県塩釜女子高等学校
宮城県鼎が浦高等学校
宮城県白石女子高等学校
宮城県黒川高等学校
宮城県多賀城高等学校

宮城県第二女子高等学校
朴沢女子高等学校
宮城県涌谷高等学校
三島学園女子高等学校
宮城県仙台第一高等学校
宮城県立船岡養護学校
宮城県南郷農業高等学校
仙台商業高等学校
聖ドミニコ学院高等学校
宮城県仙台南高等学校
宮城県名取北高等学校
宮城県亘理高等学校
宮城県中新田高等学校
宮城県築館高等学校
宮城県第一女子高等学校
宮城県松島高等学校
宮城県若柳高等学校
石巻市立女子高等学校
宮城県農業高等学校
宮城県河南高等学校
宮城県広瀬高等学校

(42校)

